

再生可能エネルギーの導入と社会全体への普及拡大で脱炭素社会の実現に貢献

再生可能エネルギー100%使用を目指す 国際的なイニシアティブ「RE100」に加盟

CLIMATE GROUP RE100

シャープは、事業で使用する電力の全てを再生可能エネルギーにすることを目指す国際的なイニシアティブ「RE100※」（Renewable Energy 100）に加盟しました。2030年までに当社の事業活動で使用する電力を再生可能エネルギー100%にすることを目指します。

当社は長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」を掲げ、2030年の自社活動のCO₂排出量ネットゼロ、2050年のサプライチェーン全体のCO₂排出量ネットゼロを目指して取り組みを加速し、近年では中国や東南アジアなどの生産拠点を中心に太陽光発電システムの導入を進めています。

「RE100」への参加により、当社事業所への再生可能エネルギーの導入をより積極的に進めるとともに、エネルギーソリューション事業を通じて再生可能エネルギーの社会全体へのさらなる普及拡大を図ることで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

また、このような環境負荷の低減の取り組みに加え、社会に貢献する価値ある商品・サービスを創出し、より良い未来の実現に向けた挑戦を続けてまいります。

なお、今回の加盟は、持続可能な脱炭素社会実現を目指す企業グループである日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）の支援を受けて実現しました。

「RE100」について：<https://www.there100.org/>

シャープの「サステナビリティ」サイト：<https://corporate.jp.sharp/eco/>

※ 国際的な環境NGOである「Climate Group」と「CDP」のパートナーシップのもと運営する国際的なイニシアティブ。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする企業で構成されています。日本では日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）が地域パートナーとして、日本企業の参加を支援しています。